

みにくいあひるの子 (1970)

メディア 映画 アニメ

ジャンル ファミリー

製作国 日本

色彩 Color

時間 20分

初公開日 1970/08/01

公開情報 東宝

【解説】

アンデルセンの有名な童話を原作にした、人形アニメーション映画。

アヒルの兄弟に混じって育つ、見るからに見栄えのよくない雛鳥。雛鳥は他と違う我が身を哀しむが、成長した彼は、自分が美しい白鳥だったのだと気づく。

1960年代から多くの人形アニメーションを制作してきた学研映画局による一本。セットにプラスチックなど素材を用いて幾何学的な抽象模様を築く一方、リアルで可愛い主人公の鳥たちとのコントラストが効果を上げた。空中を鳥が飛ぶシーンは実際に鳥のキャラクター人形を中空に吊るし、そのままコマ撮りするというかなり面倒な技法（現場の造語で「吊りメーション」）も用いられている。第二十三回大藤賞ほか複数の賞や推薦を獲得。なお本作は東宝系で公開され、同時上映は特撮怪獣映画『ゲゾラ・ガニメ・カメーバ 決戦！ 南海の大怪獣』。

【クレジット】

演出 渡辺和彦

製作 原正次
石川茂樹

企画 日本勧業銀行

原作 ハンス・クリスチャン・アンデルセン Hans Christian Andersen

脚本 渡辺和彦

撮影 平井寛
阿部行雄

美術 上田悌三
中村貞雄

編集 橋本治郎

音楽 斎藤高順

声の出演 中村メイ子